令和７年度
「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
沖縄・観光分野における有機的高専連携プログラム開発・実証事業

専門学校生のキャリア教育実態調査報告（グループ面接）

令和７年10月

＜国際電子ビジネス専門学校＞　9.11
＜ビューティーモードカレッジ＞　9.12
＜沖縄こども専門学校＞　10.9
＜那覇日経ビジネス専門学校＞　10.9

学校法人　KBC 学園
インターナショナルリゾートカレッジ

本調査は、文部科学省の専修学校による地域産業中核人材養成事業による委託事業として、学校法人KBC学園インターナショナルリゾートカレッジが実施した、令和 7 年度「沖縄・観光分野における有機的高専連携プログラム開発・実証事業」の教育効果測定のために実施したものです。

もくじ

国際電子ビジネス専門学校	1
ビューティーモードカレッジ	6
沖縄こども専門学校	11
那覇日経ビジネス専門学校	16

1 国際電子ビジネス専門学校　グループ面接調査結果

1.1 調査概要

日時　令和７年９月11日　11:00～12:00
方法　グループ面接
対象　国際電子ビジネス専門学校　1年生
人数　９名(３名１グループ×3)
※該当校の方に以下のグループ分けを依頼
Ａグループ:自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループ
Ｂグループ:自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループ
Ｃグループ:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループ
面接　仲宗根、広原



＜学科・コース＞
医療ビジネス科
AI＆ICTビジネス科
情報スペシャリスト科
ITエンジニア科ゲームプログラムコース
ITエンジニア科グラフィック・デザインコース

1.2　高校時代に、キャリアを考える上で一番役に立った学習や活動、指導などの体験

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループ

　校内で行われた進学説明会です。説明会には大学や専門学校の方がブース形式で来てくださり、自分の興味のあるブースにいって話を聞かせてもらうという会です。1年時から進学説明会に参加して1回あたり、2・3校の話を聞いていました。その中で、大学や専門学校の先生から専攻や学科の知識だけでなく、いろいろな職業の紹介や進路の決め方、自分の視点の広げ方など多くのことを教わりました。

　私の通った高校は2年生から文理のクラス別になることもあり、1年の冬には自分の進路を決めるという方針でした。進路を決める際に役に立ったのは、1年生から参加したオープンキャンパスや進路指導室の資料です。

　3年の時に週2時間進路の時間があり、進路担当の先生が割り当てられ1人の先生が10人くらい生徒の進路相談や悩みについてマンツーマンで対応してくれていました。本当に親身になって話を聞いてくれ、いろいろな選択肢を用意してくれたり助言をしてくれたりし、助かりました。

B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループ

--

　オープンキャンパスです。3・4回参加して家族にも参加してもらいました。

--

　高校で行われた専門学校や大学の説明会で最初にどんな学校があるかを知りました。その中でどこの OC に行こうか決め、OC で決定したという流れです。

--

　オープンキャンパスです。高校が情報のコースだったので情報系の専門学校に進学するのかなとなんとなく思って参加していました。情報系の OC に参加して「プログラミングはできるけど本当に好きなのかな」と思うようになり、デザイン系の OC に参加し「イラストや絵を描くことは苦手だけど好き」と感じ決めました。

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループ

-

　高校の進路の先生の薦めが大きかったです。進路の決め方がわからなくて先生に相談をして、自分のしたいこと、興味のあることを少しずつはっきりさせて、自分にあう専門学校をすすめてもらいました。

-

　私はオープンキャンパスです。

-

　私は一度就職して2年と少し働いていました。就職先は先生の紹介です。力仕事で腰を痛めて働けなくなったので、学費を少し貯めて専門学校に入学しました。高校を出て就職する際は社会人のマナーやことばづかいの勉強が役に立ったと思います。

1.3　高校時代に、キャリアを考える上で一番体験したかったこと。または、後輩に体験して欲しいこと。

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループ

　高校1年から総合の時間でキャリアマネジメントの授業があり、自分が将来やりたい職業をゴールとせず、自分がどんな人になりたいかというゴールを最初に決めました。

　職業も大切ですがどんな人間になりたいかをはっきりさせることがベースにあると思います。後輩達にも体験して欲しいと思っています。

--

　軽いインターンシップや職場見学があればもっと自分の将来の姿や目標をイメージしやすかったと思います。ジョブシャドウイングなどで実際の現場で働いている方にくっついて見てみたかったです。

　高校の時はコロナでできませんでした。中学校では映画館に行きましたが、行ったのが中学校1年生の冬でただのイベントになってしまって何も覚えてないし役に立ってないと思います。キャリアを考える上では中学3年生のころがいいのではないかと思います。高校で行うならば、高校1年の冬から高校2年の夏休み前までが良いと思います。

--

　私の高校は2年生から選択式の単位制でした。でも、授業が将来のキャリアとどうつながっているのか説明や解説がなく、何をどう取っていいのかがわかりませんでした。ですので、授業とキャリアのつながりが見えるようにしてほしかったです。

B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループ

　高校の授業が将来どう役に立つかを教えてもらいたかったです。

--

　アルバイトは様々なことを学ぶいい機会なのでやっておいたほうがいいかなと思います。

--

　私はタイプ部で物事をつきつめていくと奥が深く、できたと思ってもまだ上があることを知りました。ですので、なにかひとつのことをつきつめていくといいと思います。

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループ

-

　計測器メーカーの就業体験ができればやってみたかったです。もちろん、今でも機会があれば職場見学や就業体験はしてみたいです。

--

　自分の興味のある仕事（IT 関係）の職場見学をしたかったです。

--

　私は高校時代、カメラマンに興味があったので、職場見学というよりカメラマンにずっとついて回るジョブシャドーイングがやってみたかったです。

1.4　これからの学生生活でジョブシャドーイングやインターンシップをするとしたら、どんな職業で体験したいですか

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループ

　やはり今学んでいるシステム関係のシステムエンジニアの仕事の現場を見てみたいです。
--
　私はグラフィックデザイナーが活躍するいろいろな業界の仕事をみてみたいです。仕事の種類によって使う機材・手法・プロセスなどデザインの仕組みが違うので、とにかく多くの方の仕事を体験したいです。
--
　ゲーム開発の現場を体験してみたいです。

B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループ

　ゲーム開発の現場を体験してみたいし、チームで連携をしている姿を見てみたいです。
--
　IT の会社にはたくさんの職種があります。プログラマーも役割分担が細かく分かれているので、まずはどんな仕事があるのかを見てみたいです。インターンシップは実際に業務に携わりますが、全体のことを知りたいので職場見学やシャドーイングをしたいと思います
--
　実際のデザインの仕事のスピード感や他部署とのコミュニケーションなどを見てみたいです。

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループ

　入学後、観光業にも興味がでてきたので IT 業界だけでなく観光や航空業界の職場見学をしてみたいです。
--
　インターンシップは OC と似ていると思っています。やってみないと環境や事業内容があっているかあっていないかもわかりません。やはり就職に直結するので、みるだけではなく実際にやってみることが大切だと思います。

国際電子ビジネス専門学校まとめ

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループの特徴

進学ガイダンス、OC が進路を決める上で重要
進路を決める際は、まずキャリアプランを立て自分のプランに合ったことを学べるかを調べるとよい
職場見学やインターンシップで現場を体感（業務内容やスピード感）することが大切

B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループの特徴

進学ガイダンス、OC が進路を考える上で重要
アルバイトなどで視野を広げたり、授業とキャリアの関わりを知ったりすることが重要
全体を知るためには職場見学、特定業務を知るためにはインターンシップが有効

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループの特徴

高校の先生の紹介や指導が役に立った
インターンシップ、職場見学、ジョブシャドウイングがしてみたい
興味を広げるためには職場見学、就職先を考えるためにはインターンシップが有効

２ ビューティーモードカレッジ　グループ面接調査結果

2.1 調査概要

日時　令和７年９月12日　13:00～14:00
方法　グループ面接
対象　ビューティーモードカレッジ（美容）　1年生
人数　９名（3名1グループ×3）
※該当校の方に以下のグループ分けを依頼
Ａグループ：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループ
Ｂグループ：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループ
Ｃグループ：自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループ
面接　仲宗根、広原



＜学科・コース＞
美容科ヘアデザイナーコース
美容科ヘアメイクアップコース
トータルビューティー科コスメアドバイザーコース
トータルビューティー科ネイリストコース
トータルビューティー科ビューティースペシャリストコース
美容科通信課程コース

2.2　高校時代に、キャリアを考える上で一番役に立った学習や活動、指導などの体験

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループ

いろんな専門学校の中で美容に興味を持ったので、オープンキャンパスにいき進路をきめました。
また、インスタもよく見ていました

私の通っていた高校はここ（那覇）とは離れた場所（中部）にあったのでオープンキャンパスになかなか参加できませんでした。そんな中で高校に大学や専門学校の先生が来てくれ説明をしてくれた進学説明会はとてもありがたかったです。

私は幼いころから美容師になりたかったので美容系の専門学校に進学することに迷いはなかったです。

B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループ

--

進路ガイダンスで知り、OC で体験ができたことです。

--

パンフレットを見て知り、インスタをみて OC に参加しました。

--

オープンキャンパスです。

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループ

-

OC やパンフレットが役に立ちました。

-

パンフレットやオープンキャンパスです。

-

私は進路ガイダンスや OC やパンフです。

2.3　高校時代に、キャリアを考える上で一番体験したかったこと。また、何をしたいのかわからない高校生が体験すれば進路や将来の職業を考えるきっかけになると思う体験など。

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループ

　いろいろな業種や職種のブースをつくってそれをローテーションしていろんな話がきけるようなキャリア説明会のようなものがあればいいんじゃないかと思います。

--

　なんとなくという気持ちで大学や専門学校に進学したり就職をしたりしないために、将来の自分の姿をイメージしやすいものがあればよかったと思います。

　例えば、学校の紹介動画や学生が普段の授業を受けている姿の動画、卒業生の紹介の動画が高校でみれるようにするといいと思います。

--

　職場見学などで仕事の様子をたくさんみるとよいと思います。また、学校選びではOCも参考になりましたが、私も普段の授業の様子が見たかったです。

B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループ

　高校の時にやっておいたほうがよかったことは、進学する学校の情報だけではなく、将来働くことになる美容室の情報を得ておけばよかったかなと思います。

--

　毎日、ちゃんと朝起きて学校に行く習慣をつけるといいと思います。私はできていませんでした。

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループ

-

　学校の先生や友達から見つける方法を聞いて、いろいろなことを聞いて、その中から探していければよいと思います。

--

　なりたいことの見つけ方、やりたいことの探し方を授業で教えてあげれるとよかったのではないかと思います。

--

2.4 （A・C）1年の冬に行われる職場見学先はどんな理由で選びましたか。また、美容以外の業界や職業で職場見学をしたいところはありますか。
（B）インターンシップと職場見学の違いは何だと思いますか。また、どちらの方がいいと思いますか。

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループ

　チェーン店の方が人数が多いのでいろいろな人から多くのこと（技術や考えかたなど）が学べると思いました。
--
　私は通いやすいところ、雰囲気、自分が目指したいスタイルをもっているところを選びました。
　美容以外の仕事では、理容の見学をしたいです。理容の技術や雰囲気を学びたいと思います。
--
　自分がいいなと思ったスタイリストがいるところ、雰囲気で選びました。美容室以外では、理容の見学をしたいです。また、将来独立開業をしたいと思っているので、ヘア以外の美容（エステ・メイクなど）の現場も体験したいです。
--
B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループ

　インターンシップは働くことを体験するので就職と直結していると思います。美容師の場合、実際に身体を動かして身体で覚える職業なので、職場見学よりインターンシップの方がいいと思います。
--
　インターンシップの前に、体験学習があった方がいいと思います。いきなりインターンシップに行っても何をやったらいいのかわからないので、職場見学、体験学習という感じでステップアップするといいと思います。
　ですので、技術を学んでいない高校生は職場見学からスタートするのがベストだと思います。

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループ

　私は、グループ企業を選びました。いろいろな人からの情報を得て、就職する時の参考にしたいと思ったからです。美容室以外ではブライダル系を見学したいです。
--
　私は今通っている美容室を選びました。先輩もいるし、雰囲気もよいからです。美容室以外ではわたしもブライダルを見学したいです。
--
　私も通っている美容室を選びました。お店の内装も雰囲気もよいと感じたからです。
　美容以外では市役所の職場見学をしたいです。

ビューティーモードカレッジまとめ

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループの特徴

OC やインスタ、進学ガイダンスが進路を決める際役に立った。
進学ガイダンスの企業版のキャリア説明会、職場見学会があればよい
将来の自分の姿がイメージしやすい動画や卒業生の動画があればよい

B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループの特徴

OC、進学ガイダンス、パンフレットが進路を決める際役に立った
進路先だけでなく、将来働くことになる美容室も知っておくとよかった
美容師は実際に身体を動かして身体で覚える職業なので、就職先選びはインターンシップの方がいい
が、高校生は技術がないので職場見学がよい

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループの特徴

OC、パンフレット、進学ガイダンスが進路を決める際役に立った
やりたいことが見つからない高校生は、学校の先生や友達から見つける方法を聞いたり、なりたいことの見つけ方、やりたいことの探し方を教えてもらうとよい

３　沖縄こども専門学校　グループ面接調査結果

3.1　調査概要

日時　令和７年 10 月９日　11:20～13:00
方法　グループ面接
対象　沖縄こども専門学校　1～3年生
人数　15 名(5 名 1 グループ×3)
面接　仲宗根、広原



＜学科・コース＞

こども総合学科
- こども心理コース
- 病児保育コース
- こどもスポーツ・ダンスコース
- こども音楽コース
- 3DAY スタイル

保育科
- 保育士・幼稚園教諭コース
- 保育士コース

3.2　高校時代に、キャリアを考える上で一番役に立った学習や活動、指導などの体験

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループ

　校内で行われた進学説明会です。自分の興味のない分野も聞くことができて視野が広がりました。

　OC です。先生と学生の距離感など雰囲気を知ることができ役に立ちました。

--

　私は商業高校で、将来事務職になるのかなと思っていましたが、進路説明会や OC で小学校の先生や幼保の先生もいいなと思い決めました。

--

　OC です。高校ではあまり進路に関する授業や進路相談は行われていませんでした。

　SNS です。自分の興味のある英語と保育を両方使って活躍している卒業生の紹介がされて興味を持ちました。

B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループ

--

　OCです。先生が笑顔で話しかけてくれてとても雰囲気がよかったです。

--

　進路説明会です。進路の視野が広がるとともに、大学と専門の比較ができました。

--

　OCです。パンフレットも見ましたがやはり文字と実際の雰囲気とでは違いました。

--

　進路説明会です。ブースで自分の進路の悩みを相談しました。

--

　進路説明会です。小学校か保育かで悩んでいたとき、相談に乗ってくれました。

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループ

-

　OC です。在校生の様子や学校の雰囲気がわかったのでよかったです。

--

　高3の夏休み前にやった適職診断がよかったです。まだ進路希望が決まってない人は冬にもやっていました。

--

　進路ガイダンスです。私は小学生のときから保育士になりたかったので保育士に迷いはありませんでしたが、学校選びで役に立ちました。

--

　進路指導室にあったパンフレットが役に立ちました。

--

　進路ガイダンスのあとに家に届くパンフレットが参考になりました。

3.3　高校時代に、やりたいこと、なりたいものが見つけられない同級生が、将来のことを考える上で参考になっただろうと思う体験や授業

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループ

授業で進路と向き合う授業があればよかったです。

--

いろいろな職業について学ぶ授業があれば進路をきめる助けになったと思います。

--

私の高校では、高 3 の6月ごろスマホで適職診断をやってそれがとてもよかったです。仕事について調べるきっかけになりました。

--

私の高校の進路指導室は行きづらかったので、進路のことを考える授業や進路指導室の使い方の授業があればよかったです。

--

高 3 から急に進路のイベントが多くなりみんなあせって決めていたので、高校 1 年の冬から進路の授業をはじめて高校 2 年生も進路ガイダンスに参加できるようになると、余裕をもって考えることができたらいいのではないかと思います。

B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループ

警察官や保育士など様々な分野の方の講話を聞く機会があり、私は学んだことを模造紙にまとめる役をしました。私はこの経験から将来の仕事について真剣に考えるようになりました。

--

職場見学があればよいと思います。時期は高 1 の冬からあればいろいろな体験ができると思います。

--

ガイダンスや職場見学もいいのですが、高 3 になってから行うのは遅いと思います。高校 1 年の冬ころから高 2、高 3 にかけてじっくり経験をしていくといいと思います。

--

小学校でやったような職場見学や社会見学を高校でもやればよいと思います。

--

様々な職場見学を年に2回くらい 1 年から行うとよいと思います。

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループ

-

将来の仕事を決めることができない人は、自分から動こうとしないと思うので、進路相談を受け付けるだけでなく担当の先生を決めて、先生から声掛けをしてやりたいことを見つけるサポートをしてあげるといいと思います。

--

私の高校は、進路に関する授業が充実していました。高校1年から自分に向き合う授業、例えばグループでゲームをしながらコミュニケーションの大切さを学んだり、世の中の仕事について調べたりする授業が総合の時間にありました。なので、高 3 の時に選ぶコースもみんなしっかり考えて選んでいました。

--

適職診断がいいと思います。また、将来なりたい仕事だけでなく、進学や就職で一人暮らしをする時いくらお金がかかるかなど現実的な授業があればいいと思いました。

--

職場見学や職場体験を中学生から1年に1回は行っていくと、かなりの数の職場をみることができるのでいいと思います。

3.3　中学校のときの職場体験はキャリアと考える上で役に立ちましたか？

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループ

役に立ちました。保育所に行って楽しかったし、自分の夢を確信しました。

--

役に立ちました。場所は介護施設に行きました。世の中でいわれているほど介護の仕事はきつくなく、高齢者とのふれあいにやりがいを感じました。自分の職業に対する視野が広がったと思います。

--

私は、保育所に行きたかったのですが、ケーキ屋さんに行かされました。あまり役に立ったとは思えないし怒られた記憶しかありません。

--

役に立ちました。保育所に行きました。

--

中学生のときに行ったことはなんとなく覚えていますが、どこに行ったのかさえ思いだせません。

B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループ

保育園にいきましたが、あまり役に立ちませんでした。中2の時にただ園児と遊ぶためにいったような印象です。

--

保育園に行きましたが、普段の授業以外のイベントで働くということを意識することもなく、キャリア形成という意味では役に立っていません。

--

幼稚園に行きました。子供とあそぶだけだったので、役に立たなかったと思います。

--

ちょうどインフルエンザが流行った時期で予定していた保育園に受け入れてもらえず自分の学校の図書館で職場体験をしました。ですので、役にたちませんでした。

--

役に立ちました。保育園にいき、遊ぶだけではなく安全を意識することやトラブルの対応のしかたを学びました。

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループ

-

私は役に立ちました。小学校の時に保育園、中2で幼稚園に職場見学にいき、どちらも経験することができたのがよかったです。

--

コロナでいけなかったです。

--

中2のとき、ファストフード店に行きました。小学生のときは美容室に行きました。数学や英語の授業をしなくていいイベントのような感じで、役に立っていません。

沖縄こども専門学校まとめ

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループの特徴

OC や進学のガイダンスで、視野を広げたり先生と学生の距離感をつかむのに役立った。
様々な職業や進路と向き合う授業が、できれば高1の冬頃から連続的にあればよい
中学生の職場体験は視野を広げるのに役に立ったが、半数は役に立たなかった。

B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループの特徴

進学説明会で、相談に乗ってくれたのが役に立った
高1の冬から職場見学で働く人の姿をみるのがよいと思う。できれば継続的に年に2回程度。
中学生の職場体験は保育園が多く遊んだだけで役に立たなかった。

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループの特徴

OC は学校の雰囲気、パンフレットは学校調べ、適職診断は職業調べに役に立った
適職診断やグループでゲームをしながら自分の得意不得意を感じたりする学習を早いうちからやればよいと思う。また、職場見学は中学校2年ころから高校2年までやればよいと思う。
中学生の職場体験は希望するところにいけた学生は役に立った、いけなかった学生は立たなかったという感想をもっている

4　那覇日経ビジネス専門学校　グループ面接調査結果

4.1　調査概要

日時　令和７年 10 月９日　16:30～17:30
方法　グループ面接
対象　那覇日経ビジネス専門学校キャリアビジネス科　1年生
人数　９名(３名１グループ×3)
面接　仲宗根、広原



＜学科・コース＞

公務員ビジネス科
キャリアビジネス科
ネットワークスペシャリスト科
グローバルビジネス科

4.2　高校時代に、キャリアを考える上で一番役に立った学習や活動、指導などの体験

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループ
　進路ガイダンスです。いろいろな学校を比較することができました。
--
　OC です。OC で学校の雰囲気がわかりました。
--
　進路ガイダンスです。先輩が高校にきて説明をしてくれました。

B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループ
--
　高校の先輩の話しです。高校の進路指導は熱心で担任の先生や部活の先生も親身になって話しを聞いてくれてアドバイスをもらっていました。
--
　OC です。高校で定期的に進路相談ウィークがありその週は全員が1回は面談をしていたのでみんな進路について考えていました。
--
　OCです。高校では、高1のとき姉妹クラスの高3の先輩から進路決定の方法や大学や専門学校のこと、いろいろな学校の OC の様子などを聞くことができてとてもよかったです。
--

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループ
-
　中学校の先輩の話しです。
　--
　OC です。授業の様子を見学したり、先生と話しをすることができたのがよかったです。
--
　先輩の話しです。私は、学習サポートがしっかりしているところを探しました。

4.3　高校時代に、やりたいこと、なりたいものが見つけられない同級生が、将来のことを考える上で参考になっただろうと思う体験や授業

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループ

高3の2学期になっても見つけられない人は、先生についてもらってマンツーマンで決めていくといいです。

--

インターンシップがいいと思います。時期は高2の夏くらいがいいと思います。

--

高校のコース選択をする中学生の時からやりたいことの見つけ方や将来のことを考える授業が必要だと思います。実際に高校進学するとき深く考えず高校やコースを選んでいた友達がたくさんいました。

B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループ

説明会や OC に積極的に参加することでしょうか。

--

適職診断のアプリがよかったです。仕事調べのきっかけになりました。

--

私は、将来のことの前にまず、自分についての理解を深める自己分析が大切だと思います。自分のすきなこと、嫌いなこと、性格など自分を見つめなおすとよいと思います。そのうえで、自分に向いているもの興味のあるものはなにかを固めていけばよいと思います。

進路で悩んだら先生や友達に相談をして自分とは違うものの見方をしてもらうと決めやすくなります。

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループ

-

私の高校は、進路指導室の資料に専門学校のものはありませんでした。ですので、パンフレットはおいてほしかったです。

--

OC でみた実際の授業の様子がとても参考になりました。

--

いろいろな仕事を見学したり、働いている人たちの講話を聞ける機会が高2からあるとよいと思います。

4.4 （A、C）中学校のときの職場体験はキャリアと考える上で役に立ちましたか？（B）職場見学や職場体験をしたいところはどこですか？

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループ

中1で保育園に行きました。園児と遊んだりしましたが、キャリアを考える上で役に立っていません。

--

中学はコロナでなくなりました。小5のとき保育園にいきましたが、いっただけです。

--

中学校ではどこかに行った覚えはありますが、よく覚えていません。高校の時は家の近くにあった保育園にいきました。ただ、授業の一環として行っただけで特に何かを学んだということはないです。

しかしバスで行った職場見学はよく覚えています。職場見学は小中高であり、高校では、製糖工場や多良川酒造、地下ダムの見学などにいき視野が広がりました。

B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループ

税理士事務所の様子がみてみたいです。

--

不動産、病院、銀行など

--

卸売業のようにｂ to ｂの企業に興味があります。

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループ

-

中1のときディスカウントショップで行いました。作業や品出しなどをやりました。アルバイトのような経験はできましたが、働くことを考えたり将来の職業を考えるということはなく、役に立っていません。

--

コロナでなかったです。

--

コロナでなかったです。小学生のときの職場体験は大人とふれあうことができ、役に立ったと思います。

那覇日経ビジネス専門学校まとめ

A：自身のキャリアに対し、積極的に向き合い活動したグループの特徴

進路ガイダンスは視野を広げる、先輩の話がきける、先生と学生の距離感をつかむのに役立った。
決まらない人は、高校の先生にマンツーマンでついてもらう。
高校でコースがある場合は中学生からキャリアの授業があると自分に合ったコースを選ぶことができると思う。
中学生の職場体験は役に立ってないか、覚えていない。

B：自身のキャリアに対し、標準的な活動を行ったグループの特徴

専門学校の在校生の話しや、高1のときの高3の先輩たちの話がとても役に立った。
適職診断が役に立った、自己分析から始めるのがいい。

C:自身のキャリアに対し、活動が消極的だったグループの特徴

先輩の話しや OC が役に立った。
学校選びでは実際の授業の様子を見学する、職場見学をなるべくおおく行う。
コロナで実施していない。キャリアのことを考える意味では役に立たなかった。